

ロラたちの闘いをつたえる



ドキュメンタリー映画『カタロウガン!ロラたちに正義を!』
(監督:竹見智恵子、撮影・編集:中井信介/2011年/69分)から。

フィリピンの日本軍「慰安婦」の女性たちによる正義を求める闘いをおさめたドキュメンタリー映画に、『カタロウガン!ロラたちに正義を!』(2011年制作)があります。

その監督をつとめた竹見智恵子さんがロラたちに出会ったのは、1992年。日本で裁判を提訴するためにマニラに集っていたロラたちは、心細そうに会場の隅に身を寄せ合い、弁護士の問いかけにもしどろもどろで答えていたそうです。そのロラたちが1年もしないうちに街頭で声をあげ、被害者からサバイバーへ、そしてアクティビストへと、たくましくチャームングに変化していきました。

そんなロラたちの姿を映像にのこそうと竹見さんが思いついたのは2010年、その撮影と編集を担ったのが中井信介さんでした。セミナーではお2人をお迎えし、ロラたちと一緒に過ごした日々、映像には残されていないつばやきとともに、ロラたちの闘いを伝え、記録を残していく思いについてお話しいただきます。

日時:2026年3月29日(日) 14:00~16:30

お話し:竹見智恵子さん 中井信介さん

会場:wamオープンスペース(定員40名/予約・先着順)

参加費:1000円(wam会員。非会員は1200円)



***オンラインは翌日夕方以降のオンデマンド配信(1か月)になります。**

お申し込みは左記二次元コードからGoogleフォームで。
wam事務局にメールをくださればURLをお送りします。
会場参加のみ電話での申し込みも可能です。

【ゲスト紹介】

たけみ・ちえこ：1939年生まれ。コピーライターを経てジャーナリストに。教育や環境などの市民運動に携わり、1987年よりフィリピン・レイテ島の農村を支援するNGO「水牛家族」主宰。レメディオス・フェリアス『もうひとつのレイテ戦:日本軍に捕らえられた少女の絵日記』(ブカンブコン、1999年)を出版するために尽力した。

なかい・しんすけ：1967年生まれ。1993年からフィリピンのスラム街や米軍基地跡地の写真を撮り始め、新聞や雑誌で発表する。1999年からビデオ取材を始め、TBSの報道特集やNews23などで発表。フィリピン、韓国、マレーシアなど、アジア各地に足を運び、環境破壊や基地拡張闘争などと闘う人々を捉える映像を制作する。

